題目：チベット高原での高エネルギー宇宙線の研究

川田和正（東大宇宙線研）

水チェレンコフミューオン観測装置は2014年より観測を継続中。MCによる解析の最適化によりガンマ線のエネルギー分解能が向上。TeV領域の「太陽の影」におけるCMEの影響を観測。YAC-II実験ではKnee領域１次宇宙線組成を測定するために2014年から観測を継続中。雷雲からの高エネルギー放射線観測では電場・空気シャワーに加えガンマ線のトリプルコインシデンスを目指し観測を継続中。